

第47期事業報告書

北野生涯教育振興会は、「いつでも・どこでも・だれでも学べる」体制をつくるという理念にもとづき、生涯教育を目的とした我国最初の財団法人として昭和50年6月文部省(現文部科学省)の認可を得て設立されました。

当財団は、平成22年12月1日付で公益財団法人に移行しましたので、令和元年10月1日から令和2年9月30日までが公益財団法人として10期目となりました。

第47期は、コロナ禍により3月以降、事業の多くが中止または翌年へ延期となりました。

以下、事業項目毎に第47期の実施状況を報告いたします。

1. 生涯教育に関する助成事業

生涯教育の振興を図るために、広く生涯教育に関する機関、研究者及び生涯教育に関する事業を行っている団体等に対して助成を行い、その成果を通して豊かな人間性を涵養し地域社会の発展に寄与することを目的とした事業

(1) 公益財団法人 日本生産性本部主催の「生産性の船」への招聘

この研修は、第一線のリーダー、若手中堅スタッフ、管理者を対象に行われ、規律ある集団生活と訓練などの自主的運営を通じてリーダーシップの開発を図ります。また、海外企業視察等による現地の人との交流や文化の違いを実感することで、国際的視野をもった人材の育成を目的とするものです。参加者の意識改革に大きな成果を上げています。当財団としては、生涯教育の一環として第2期(昭和51年)より毎年実施しており、今期6名を加え、延べ356名の方を招聘しました。令和2年の1号船は、コロナ禍で事業が中止となりました。

対 象 船 生産性の船 2都市コース

令和1年	2号船(シンガポール・ホーチミン)	6名
令和2年	1号船(シンガポール・バンコク)	中止

(2) 研究助成金の交付

生涯教育の一層の充実を図るため、生涯教育に関する調査・研究をする個人またはグループのうち資金援助を申請したものに対し、これに要する費用のうち一定額を助成しています。今期は、一件80万円の研究助成金を10名の研究者に交付しました。昭和51年より実施しており、交付者総数は129名となりました。

(3) 図書寄贈

図書は豊かな人格形成の糧となるものです。読書離れが進む中、小中学校のころより図書に親しんで学ぶ楽しみを体得してもらいたいとの思いから、小中学校等へ図書を寄贈しています。今期は、目黒区の公立小・中学校へ希望図書を361冊寄贈しました。災害復興支援として東北の3ヶ所(気仙沼市、松島町、いわき市)にある小・中学校等に825冊、熊本県益城町の小・中学校にも329冊、東広島市の小・中学校に385冊、他3市に553冊を寄贈し、寄贈累計19,448冊となりました。また、財団編集の下記図書を全国の図書館や教育機関及び当財団関係先約300ヶ所に寄贈しました。

出 版 社：ぎょうせい

図 書 名：「私の道草」

(4) 途上国支援

教育事業の支援を行い教育の環境整備も行っているフィリピンの現地のNGO・特定非営利法人ミンダナオ子ども図書館の活動に賛同し、ミンダナオの保育所建設を助成してきました。今期は、ミンダナオで財団支援による13棟目の保育所建設資金(コンクリート造り)を助成しました。

(5) その他(アーティスト派遣、パレットプログラム)

豊かな人生を歩むための基礎作りとして、小・中学生のためにプロのアーティストを派遣し直接触れ合うことで学ぶ楽しみや、本物の世界を経験する機会を提供しています。今期は、映像の世界を勉強するメディアアーティストを、いわき市と熊本県益城町へ派遣する助成を行ないました。しかしながら、コロナ禍により他地域及び声楽家派遣の実施を見送らざるを得ませんでした。

さらに、目黒区の演劇及びダンスのワークショップ(パレットプログラム)は、従来のスタイルの「ワークショップ」は中止となり、代わりにオンライン演劇ワークショップ「地球から遠く離れて」の助成を行いました。

2. 学習者に対する奨学助成事業

生涯学習を実践する方に対し奨学金を給付し、勉学を経済的、精神的に支援することにより、心身の健全な発展に寄与し、豊かな人間性を涵養し、よりよい社会の形成に寄与することを目的とする事業

(1) 科目等履修生奨学金

生涯教育の柱の一つであるリカレント教育の一環として、大学、大学院において科目等履修生として1年間学ぶ社会人経験者を有する方を対象として、奨学金を給付しました。1人20万円を奨学金として支給するもので、昭和51年からスタートし、今期(第44回)は15名(大学院7名、大学8名)に給付しました。給付者総数は、671名となりました。

(2) 放送大学奨学金

生涯教育の柱の一つであるリカレント教育の一環として、放送大学で学ぶ30歳以上の方または会社・官公庁等において実務経験5年以上を有する方を対象として、奨学金を給付しました。令和2年3月に科目等履修生と放送大学修士全科生による学びの成果発表会と奨学生同士の相互交流を予定しましたが、コロナ禍により中止致しました。

① 選科履修生奨学金

選科履修生として学ぶ方に、1人7万円を奨学金として支給するもので、平成9年よりスタートし、今期(第23回)は16名に給付し、給付者総数は381名となりました。

② 放送大学大学院修士全科生奨学金

放送大学大学院修士全科生として学ぶ方に、1人30万円を奨学金として支給するもので、平成14年よりスタートし、今期(第18回)は10名に給付し、給付者総数は150名となりました。

(3) 彫刻奨学生奨学金

生涯教育のテーマのひとつである芸術分野のうち特に多額の製作費を要する彫刻芸術を志す学生、研究生で成績優秀な方を対象として、奨学金を給付しました。昭和60年からスタートし、今期(第35回)は、日本大学芸術学部、多摩美術大学、女子美術大学の3校を奨学生の対象としました。3校の中から5名に奨学金を給付し、給付者総数は134名となりました。

令和元年12月に、平成元年度奨学生の作品展が日本大学芸術学部にて行われました。また、令和元年奨学生作品を財団創設者北野隆春のふるさと山梨県笛吹市境川町「藤壘の滝大窪いやしの杜公園」に設置しました。作品の公園設置は、毎年3月に行いますが、コロナ禍により半年遅れの令和2年9月となりました。

40周年記念事業の一つとして、目黒区中目黒公園に寄贈設置した彫刻については、本体及びその周辺のメンテナンスを行うなど環境を維持しています。

(4) 外国人奨学生奨学金

平成11年から中国の天津市にある南開大学の学生を対象に外国人奨学金事業を開始しました。平成15年天津大学、平成18年広州市広東工業大学、平成19年ベトナムの国立農業大学とズンサ高校、平成22年フィリピンミンダナオ子ども図書館スカラーシップ、平成27年からベトナム財務経営管理大学、平成28年から新たにインドネシアのポリネス大学に奨学金を給付しました。今期、給付者総数は1,403名となりました。

(5) 音楽奨学生奨学金

生涯教育のテーマのひとつである芸術分野の中から、音楽芸術を志す学生、大学院生等で成績優秀な方成績優秀な方を対象として、奨学金を給付しました。平成21年からスタートし、平成23年からは1名増員し3名に奨学金を授与し、給付者総数34名となりました。

成果発表の場として、当財団の総会にて演奏会を設けています。

3. 講演会・研修会等の開催事業

より豊かな生きがいを求める人々に対し、「いつでも、どこでも、だれでも学べる」機会を提供することにより、健康で豊かな知識と情操を有する人材の育成に寄与するとともに、生涯教育の啓蒙を図る事業

(1) 講演会

生涯学習の機会提供の意味から、多分野に渡って講師を招いて講演会を開催しています。伝統文化シリーズとして「能」「狂言」「文楽」「歌舞伎」「雅楽」を順に開催しており、今期は、『伝統芸能「狂言」に親しむ』を計画しました。また、『情熱の踊り「フラメンコ」に親しむ』を計画しました。しかし、いずれもコロナ禍により次年度に延期としました。

開催日	テーマ	講師	場所
令和2年 6月20日(土) 延期	伝統文化「狂言」に親しむ 狂言の歴史や内容などの基礎知識の紹介 狂言「鐘の音」の鑑賞とともに、狂言の感情表現やセリフ、謡、舞などを体験	狂言師 石田幸雄氏 (万作の会)	めぐろ パーシモン ホール 小ホール
令和2年 8月22日(土) 延期	情熱の踊り「フラメンコ」に親しむ 心揺さぶられる魂の歌、激しくリズムを弾くギター、情熱のステップを踏む踊りフラメンコの歴史・衣裳・楽器等の解説、鑑賞と体験	小松原 庸子氏 (小松原庸子 スペイン舞踊団)	めぐろ パーシモン ホール 小ホール

(2) 研修会

現在の研修は、美術研修、伝承研修、歴史研修、ライフプラン研修、音楽研修の5つを計画しましたが、コロナ禍により3月以降の事業を中止または延期としております。

① 美術研修

イ)美術館めぐり：回毎にテーマを定めて、専門講師の説明を受けながら、美術館等でアート作品鑑賞(年2回)を計画しましたが延期としました。

ロ)デジタル一眼レフカメラ入門：入門編として、構図やカメラの設定について学び、撮影会で実践指導を受け、その作品の写真展を計画しましたが延期としました。

開催日	テーマ	講師・訪問美術館等
令和2年3月10日 延期	美術鑑賞(その60) 小江戸川越散策と 美術館をたずねて	美術研究家 沼辺 信一氏 ・遠山記念館 ・ヤオコー川越美術館 (三栖右嗣記念館) ・小江戸川越散策

令和2年7月13日 ～14日 延期	美術鑑賞（その61） 北の大地（小樽・札幌）のアートを たずねて	美術研究家 沼辺 信一 氏 小樽・札幌の美術館・公園
令和2年9月8日 ～9日 延期	デジタル一眼レフカメラ入門 7回目 青梅周辺にて実施	日本大学芸術学部専任講師 穴吹 有希 氏 青梅周辺の美術館・公園

② 伝承研修

時の流れの中で脈々と生きてきた古きよきものを次世代に伝承していきたいとの思いから「伝承研修」という事業を行っております。失われつつある日本の精神文化を求めて「偉人のふるさとを訪ねて」と題して行っております。

今回は、戊辰戦争時、白虎隊悲劇の舞台となった飯盛山、子供達への教育を熱心に行った会津藩校日新館などを巡りながら会津の歴史を学ぶ、『偉人のふるさとを訪ねて「会津編」』を計画しましたが延期としました。

開催日	テーマ	訪問地
令和2年8月31日 ～9月1日 延期	偉人のふるさとを訪ねて「会津編」	会津周辺

③ 歴史研修

日本の文化遺産である城を訪ね、現場で専門家に解説をいただきながら「城」を通して歴史を学びます。

今回は、戦国武将明智光秀ゆかりの城、桜の名所でもある福知山城と篠山城。そして平成5年に日本で初めて世界文化遺産に登録された姫路城を訪れる『丹波・播磨の城めぐり』を計画しましたが延期としました。

開催日	テーマ	講師
令和2年4月1日 ～2日 延期	丹波・播磨の城めぐり (篠山城・福知山城・姫路城)	静岡大学名誉教授 小和田 哲男 氏

④ ライフプラン研修

「人生 100 年時代」と言われている今日、今後の人生設計においてどうすべきかを講師から学び、各自のライフプランを作成する研修を計画しましたが延期としました。

開催日	テーマ	講師
令和2年6月13日 延期	50代から考える ライフプラン講座(その10)	活性化センター研究所 井上 国春氏 他

⑤ 音楽研修

平成24年から毎年参加者を公募により募集している合唱団で、東日本大震災から2年目の平成25年3月11日に「鎮魂コンサート」を主催して以降、フォーレを中心にコンサートを実施してきました。一昨年「北野財団混声合唱団」として名称も新たに出発いたしました。今期は「日本の合唱作品 II」とし、富山に伝わる民謡等を取り上げ、日本語の発音、近代的なハーモニーなどを62名で半年間練習してきましたが、3月7日のコンサート本番を直前に中止しました。

(3) 論文募集

① 課題決定

令和2年の懸賞論文の課題：『すぐそばにある「世界」』

② 今回の論文趣旨

昨年はラグビーワールドカップが日本で開催され、大変な盛り上がりを見せました。そして、いよいよ今年の夏はオリンピック・パラリンピック！世界中から多くの外国人が日本を訪れます(論文募集当時)。すでに駅の表示は日本語だけでなく、英語、ハングル語、中国語が併記され、車内アナウンスも同様に変わってきています。

近所のコンビニではインド人やベトナム人の店員が流暢な日本語で会話し、複雑な業務をテキパキとこなしています。介護・福祉の分野でも多くの外国人が活躍しています。日本に居ながらにして世界中の料理を食することができ、衣類のほとんどは海外からの輸入品です。また、日本のアニメやコスプレは海外でも大変人気があり、各国でイベントが開催されるなど、日本の新しい文化が海外に広がっています。インターネットの普及によって世界中の人とSNSで会話し、eスポーツで対戦することも、動画配信することも可能です。世界中の情報を簡単に入手できる今、遠くに感じていた「世界」がぐっと身近に感じられるようになりました。

あなたにとっての「世界」はどのようなものでしょうか。様々な異文化体験によって学んだこと、感動したこと。外国人との交流で気付いたこと、考えさせられたこと。留学先で助けられたこと、手を差し伸べてもらったこと。ボランティア活動から得られたこと等。あなたのすぐそばに「世界」はあります。

③ 応募状況

其々の経験を振り返り、小論文・エッセーに綴ってもらい、463編の応募がありました。
審査の結果、19編が入賞となりました。

入賞者氏名

賞	氏名	副題	年齢	居住地
第1席	堀山 有里子	「静かなる世界」心を一つに掴む未来	46	北海道
第2席	表野 いづみ	魔法使いの弟子	56	東京都
	吉野 恵玲奈	イツ・ア・スモールワールド	17	東京都
	大村 榛菜	キッチンから覗く世界	29	京都府
第3席	鴨野 珠里	守られるべき今と未来	21	東京都
	田平 美来	同じ空の下に引かれた線	20	東京都
	大森 響子	私が見た世界	17	神奈川県
	閻 秋君	偶然に身を委ねる私	28	宮城県
	平佐 日奈子	差し伸べられた手の先に	28	東京都
佳作	入江 賢次	私にとっての「世界」	47	東京都
	栗田 陽二郎	一杯のスープから	78	福岡県
	濱中 晶子	抱擁の価値	56	東京都
	田口 浩明	コンバンハ、センス！	51	埼玉県
	森山 祥子	所詮それっぽっちの	30	鹿児島県
	倉本アフジャ亜美	「世界」はひとりひとりの中に	54	栃木県
	花田 彩央里	まっすぐな優しさ	28	東京都
	浅野 秋生	隣のセカイと仲良くなる方法	26	京都府
	寺嶋 由芙	すぐそばにあった「世界」	28	千葉県
	古泉 修行	一歩からつながる世界の「和」	15	新潟県

(4) 機関誌「生涯教育だより」発刊

生涯教育に関する講演、論文、当財団が行なう諸事業の案内・報告などを掲載するとともに、賛助会員の意見、感想等の発表の場とし、これを会員その他関係先に配付して生涯教育振興の一助とするものです。今期は121号より122号を発刊しましたが、コロナ禍の影響で123号は休刊としました。

(5) 生涯教育ライブラリー

生涯教育に関係深いもので、次第に私達のまわりから忘れられていくもの、伝承が望ましい文化についての図書を主体に蒐集しています。

貸借対照表

令和 2年 9月30日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	148,768,844	116,511,751	32,257,093
現 金	51,851	40,285	11,566
当座預金	623,100	522,826	100,274
普通預金	144,250,543	112,105,290	32,145,253
定期預金	3,843,350	3,843,350	0
流動資産合計	148,768,844	116,511,751	32,257,093
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産普通預金	75,600,000	55,100,000	20,500,000
基本財産定期預金	34,856,650	34,856,650	0
投資有価証券	8,415,870,915	8,036,044,416	379,826,499
借地権	318,835,500	318,835,500	0
建 物	34,310,544	35,817,727	-1,507,183
基本財産合計	8,879,473,609	8,480,654,293	398,819,316
(2) 特定資産			
退職引当資産	5,700,000	4,500,000	1,200,000
建物建造引当資産	103,100,000	103,860,000	-760,000
奨学・助成引当資産	1,560,218	1,560,218	0
周年事業引当資産	12,000,000	12,000,000	0
リソト奨学引当資産	27,000,000	18,000,000	9,000,000
特定資産合計	149,360,218	139,920,218	9,440,000
(3) その他固定資産			
建物附属設備	4,068,552	4,212,050	-143,498
構築物	44,562	51,937	-7,375
什器備品	1,742,317	1,747,493	-5,176
電話加入権	220,300	220,300	0
その他固定資産合計	6,075,731	6,231,780	-156,049
固定資産合計	9,034,909,558	8,626,806,291	408,103,267
資産合計	9,183,678,402	8,743,318,042	440,360,360
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,000,000	8,300,000	-300,000
預り金	0	36,842	-36,842
流動負債合計	8,000,000	8,336,842	-336,842
2. 固定負債			
役員退職引当金	5,700,000	4,500,000	1,200,000
固定負債合計	5,700,000	4,500,000	1,200,000
負債合計	13,700,000	12,836,842	863,158
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	150,666,218	131,322,218	19,344,000
投資有価証券受贈益	6,508,115,685	6,164,901,624	343,214,061
借地権受贈益	318,835,500	318,835,500	0
建物受贈益	28,734,522	30,088,503	-1,353,981
指定正味財産合計	7,006,351,925	6,645,147,845	361,204,080
(うち基本財産への充当額)	(6,996,791,707)	(6,635,587,627)	(361,204,080)
(うち特定資産への充当額)	(9,560,218)	(9,560,218)	(0)
2. 一般正味財産	2,163,626,477	2,085,333,355	78,293,122
(うち基本財産への充当額)	(1,882,681,902)	(1,845,066,666)	
(うち特定資産への充当額)	(134,100,000)	(125,860,000)	(8,240,000)
正味財産合計	9,169,978,402	8,730,481,200	439,497,202
負債及び正味財産合計	9,183,678,402	8,743,318,042	440,360,360

貸借対照表内訳表

令和 2年 9月30日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	98,658,044		50,110,800		148,768,844
現 金	51,851		0		51,851
当座預金	623,100		0		623,100
普通預金	94,139,743		50,110,800		144,250,543
定期預金	3,843,350		0		3,843,350
流動資産合計	98,658,044		50,110,800		148,768,844
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
基本財産普通預金	75,600,000		0		75,600,000
基本財産定期預金	34,856,650		0		34,856,650
投資有価証券	5,320,958,340		3,094,912,575		8,415,870,915
借地権	223,184,850		95,650,650		318,835,500
建物	24,017,354		10,293,190		34,310,544
基本財産合計	5,678,617,194		3,200,856,415		8,879,473,609
(2) 特定資産					
退職引当資産	840,000		4,860,000		5,700,000
建物建造引当資産	72,170,000		30,930,000		103,100,000
奨学・助成引当資産	1,560,218		0		1,560,218
周年事業引当資産	12,000,000		0		12,000,000
功労奨学引当資産	27,000,000		0		27,000,000
特定資産合計	113,570,218		35,790,000		149,360,218
(3) その他固定資産					
建物附属設備	2,847,962		1,220,590		4,068,552
構築物	22,277		22,285		44,562
什器備品	3		1,742,314		1,742,317
電話加入権	220,300		0		220,300
その他固定資産合計	3,090,542		2,985,189		6,075,731
固定資産合計	5,795,277,954		3,239,631,604		9,034,909,558
資産合計	5,893,935,998		3,289,742,404		9,183,678,402
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	8,000,000		0		8,000,000
預り金	0		0		0
流動負債合計	8,000,000		0		8,000,000
2. 固定負債					
役員退職引当金	840,000		4,860,000		5,700,000
固定負債合計	840,000		4,860,000		5,700,000
負債合計	8,840,000		4,860,000		13,700,000
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
寄付金	148,266,218		2,400,000		150,666,218
投資有価証券受贈益	3,904,868,205		2,603,247,480		6,508,115,685
借地権受贈益	223,184,850		95,650,650		318,835,500
建物受贈益	20,114,151		8,620,371		28,734,522
指定正味財産合計	4,296,433,424		2,709,918,501		7,006,351,925
(うち基本財産への充当額)	(4,289,273,206)		(2,707,518,501)		(6,996,791,707)
(うち特定資産への充当額)	(7,160,218)		(2,400,000)		(9,560,218)
2. 一般正味財産	1,588,662,574		574,963,903		2,163,626,477
(うち基本財産への充当額)	(1,389,343,988)		(493,337,914)		(1,882,681,902)
(うち特定資産への充当額)	(105,570,000)		(28,530,000)		(134,100,000)
正味財産合計	5,885,095,998		3,284,882,404		9,169,978,402
負債及び正味財産合計	5,893,935,998		3,289,742,404		9,183,678,402

正味財産増減計算書

令和 1年10月 1日から令和 2年 9月30日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	129,291,425	142,397,982	-13,106,557
基本財産受取利息	13,809,680	14,084,932	-275,252
基本財産受取配当金	115,481,745	128,313,050	-12,831,305
特定資産運用益	1,816,584	1,084,156	732,428
特定資産受取利息	1,816,584	600,823	1,215,761
特定資産運用益	0	483,333	-483,333
受取会費	282,670	306,530	-23,860
賛助会員受取会費	282,670	306,530	-23,860
受取負担金	775,188	6,003,854	-5,228,666
受取負担金	775,188	6,003,854	-5,228,666
固定資産受増益	1,353,981	1,417,780	-63,799
建物受増益	1,353,981	1,417,780	-63,799
雑収益	80,754	172,583	-91,829
受取利息	2,454	2,135	319
雑収益	78,300	170,448	-92,148
経常収益計	133,600,602	151,382,885	-17,782,283
(2) 経常費用			
事業費	74,289,167	96,755,052	-22,465,885
役員報酬	2,790,553	3,030,980	-240,427
給料手当	7,349,232	9,382,284	-2,033,052
通勤費	0	30,100	-30,100
役員退職繰入額	840,000	0	840,000
退職給付費用	0	646,398	-646,398
福利厚生費	66,147	569,253	-503,106
会議費	2,743,400	2,549,688	193,712
旅費交通費	1,817,970	11,493,659	-9,675,689
通信運搬費	1,018,745	1,018,454	291
減価償却費	1,435,524	1,496,800	-61,276
消耗什器備品費	82,500	81,000	1,500
消耗品費	388,623	349,093	39,530
修繕費	0	94,500	-94,500
図書文献費	242,870	4,956	237,914
印刷製本費	5,233,971	6,095,170	-861,199
光熱水料費	512,427	515,491	-3,064
賃借料	2,902,810	3,110,056	-207,246
保険料	0	15,428	-15,428
諸謝金	2,939,063	2,944,189	-5,126
租税公課	1,400	1,000	400
支払負担金	0	5,000	-5,000
支払助成金	21,665,420	27,621,106	-5,955,686
支払寄附金	0	238,600	-238,600
支払奨学金	17,309,000	16,829,000	480,000
委託費	4,679,992	8,190,409	-3,510,417
渉外費	78,580	299,513	-220,933
雑費	190,940	142,925	48,015

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	19,766,751	21,509,060	-1,742,309
役員報酬	6,395,951	6,598,991	-203,040
給料手当	3,149,671	4,020,979	-871,308
通勤費	0	12,900	-12,900
役員退職繰入額	360,000	0	360,000
退職給付費用	0	277,027	-277,027
福利厚生費	28,349	243,965	-215,616
会議費	1,342,550	1,337,607	4,943
旅費交通費	197,360	354,030	-156,670
通信運搬費	377,129	480,162	-103,033
減価償却費	622,498	649,737	-27,239
消耗什器備品費	58,882	64,203	-5,321
消耗品費	473,744	620,413	-146,669
修繕費	14,520	90,850	-76,330
図書文献費	61,703	92,572	-30,869
印刷製本費	141,796	232,251	-90,455
光熱水料費	219,611	220,925	-1,314
賃借料	1,193,662	1,213,738	-20,076
保険料	101,300	96,200	5,100
諸謝金	1,221,000	1,036,800	184,200
租税公課	172,400	173,200	-800
支払負担金	30,600	73,155	-42,555
諸会費	394,000	394,000	0
委託費	2,918,976	2,798,424	120,552
渉外費	115,220	203,776	-88,556
雑費	175,829	223,155	-47,326
経常費用計	94,055,918	118,264,112	-24,208,194
評価損益等調整前当期経常増減額	39,544,684	33,118,773	6,425,911
基本財産評価損益等	39,508,438	-412,893,778	452,402,216
基本財産評価損益等	39,508,438	-412,893,778	452,402,216
特定資産評価損益等	-760,000	-5,490,000	4,730,000
特定資産評価損益等	-760,000	-5,490,000	4,730,000
評価損益等計	38,748,438	-418,383,778	457,132,216
当期経常増減額	78,293,122	-385,265,005	463,558,127
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	78,293,122	-385,265,005	463,558,127
一般正味財産期首残高	2,085,333,355	2,470,598,360	-385,265,005
一般正味財産期末残高	2,163,626,477	2,085,333,355	78,293,122
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	20,500,000	20,500,000	0
受取寄附金	20,500,000	20,500,000	0
基本財産評価益	342,058,061	-2,220,895,791	2,562,953,852
基本財産評価益	342,058,061	-2,220,895,791	2,562,953,852
一般正味財産への振替額	-1,353,981	-1,417,780	63,799
一般正味財産への振替額	-1,353,981	-1,417,780	63,799
当期指定正味財産増減額	361,204,080	-2,201,813,571	2,563,017,651
指定正味財産期首残高	6,645,147,845	8,846,961,416	-2,201,813,571
指定正味財産期末残高	7,006,351,925	6,645,147,845	361,204,080
III 正味財産期末残高	9,169,978,402	8,730,481,200	439,497,202

正味財産増減計算書内訳表

令和 1年10月 1日から令和 2年 9月30日まで

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合 計
	公1. 生涯教育 助成事業	公2. 生涯教育 学習者奨学事業	公3. 生涯教育 講演会・研修 会・その他事業	共通	小 計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	83,098,727	83,098,727	46,192,698	129,291,425
基本財産受取利息	0	0	0	13,809,680	13,809,680	0	13,809,680
基本財産受取配当金	0	0	0	69,289,047	69,289,047	46,192,698	115,481,745
特定資産運用益	0	0	0	1,271,294	1,271,294	545,290	1,816,584
特定資産受取利息	0	0	0	1,271,294	1,271,294	545,290	1,816,584
受取会費	0	0	0	282,670	282,670	0	282,670
賛助会員受取会費	0	0	0	282,670	282,670	0	282,670
受取負担金	0	0	775,188	0	775,188	0	775,188
受取負担金	0	0	775,188	0	775,188	0	775,188
固定資産受増益	0	0	0	947,788	947,788	406,193	1,353,981
建物受増益	0	0	0	947,788	947,788	406,193	1,353,981
雑収益	0	0	52,300	28,454	80,754	0	80,754
受取利息	0	0	0	2,454	2,454	0	2,454
雑収益	0	0	52,300	26,000	78,300	0	78,300
経常収益計	0	0	827,488	85,268,933	86,456,421	47,144,181	133,600,602
(2) 経常費用							
事業費	23,924,738	21,806,342	12,778,554	15,779,533	74,289,167	0	74,289,167
役員報酬	0	0	0	2,790,553	2,790,553	0	2,790,553
給料手当	0	0	0	7,349,232	7,349,232	0	7,349,232
役員退職繰入額	0	0	0	840,000	840,000	0	840,000
福利厚生費	0	0	0	66,147	66,147	0	66,147
会議費	1,270,892	143,514	1,328,994	0	2,743,400	0	2,743,400
旅費交通費	334,666	208,380	1,274,924	0	1,817,970	0	1,817,970
通信運搬費	295,422	255,375	467,948	0	1,018,745	0	1,018,745
減価償却費	0	0	0	1,435,524	1,435,524	0	1,435,524
消耗什器備品費	0	82,500	0	0	82,500	0	82,500
消耗品費	229,844	45,861	112,918	0	388,623	0	388,623
図書文献費	0	0	242,870	0	242,870	0	242,870
印刷製本費	1,645,875	0	3,588,096	0	5,233,971	0	5,233,971
光熱水料費	0	0	0	512,427	512,427	0	512,427
賃借料	0	0	117,600	2,785,210	2,902,810	0	2,902,810
諸謝金	694,576	543,932	1,700,555	0	2,939,063	0	2,939,063
租税公課	0	400	1,000	0	1,400	0	1,400
支払助成金	19,224,456	1,000,000	1,440,964	0	21,665,420	0	21,665,420
支払奨学金	0	17,309,000	0	0	17,309,000	0	17,309,000
委託費	147,687	2,083,400	2,448,905	0	4,679,992	0	4,679,992
渉外費	55,880	19,800	2,900	0	78,580	0	78,580
雑費	25,440	114,180	50,880	440	190,940	0	190,940
管理費	0	0	0	0	0	19,766,751	19,766,751
役員報酬	0	0	0	0	0	6,395,951	6,395,951
給料手当	0	0	0	0	0	3,149,671	3,149,671
役員退職繰入額	0	0	0	0	0	360,000	360,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	28,349	28,349
会議費	0	0	0	0	0	1,342,550	1,342,550
旅費交通費	0	0	0	0	0	197,360	197,360
通信運搬費	0	0	0	0	0	377,129	377,129
減価償却費	0	0	0	0	0	622,498	622,498
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	58,882	58,882
消耗品費	0	0	0	0	0	473,744	473,744
修繕費	0	0	0	0	0	14,520	14,520
図書文献費	0	0	0	0	0	61,703	61,703
印刷製本費	0	0	0	0	0	141,796	141,796
光熱水料費	0	0	0	0	0	219,611	219,611
賃借料	0	0	0	0	0	1,193,662	1,193,662
保険料	0	0	0	0	0	101,300	101,300
諸謝金	0	0	0	0	0	1,221,000	1,221,000
租税公課	0	0	0	0	0	172,400	172,400
支払負担金	0	0	0	0	0	30,600	30,600
諸会費	0	0	0	0	0	394,000	394,000
委託費	0	0	0	0	0	2,918,976	2,918,976
渉外費	0	0	0	0	0	115,220	115,220
雑費	0	0	0	0	0	175,829	175,829
経常費用計	23,924,738	21,806,342	12,778,554	15,779,533	74,289,167	19,766,751	94,055,918
評価損益等調整前当期経常増減額	-23,924,738	-21,806,342	-11,951,066	69,849,400	12,167,254	27,377,430	39,544,684
基本財産評価損益等	0	0	0	13,579,831	13,579,831	25,928,607	39,508,438
基本財産評価損益等	0	0	0	13,579,831	13,579,831	25,928,607	39,508,438
特定資産評価損益等	0	0	0	-532,000	-532,000	-228,000	-760,000
特定資産評価損益等	0	0	0	-532,000	-532,000	-228,000	-760,000
評価損益等計	0	0	0	13,047,831	13,047,831	25,700,607	38,748,438
当期経常増減額	-23,924,738	-21,806,342	-11,951,066	82,897,231	25,215,085	53,078,037	78,293,122
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-23,924,738	-21,806,342	-11,951,066	82,897,231	25,215,085	53,078,037	78,293,122
他会計振替額	0	0	0	479,865,699	479,865,699	-479,865,699	0
他会計振替額	0	0	0	479,865,699	479,865,699	-479,865,699	0
当期一般正味財産増減額	-23,924,738	-21,806,342	-11,951,066	562,762,930	505,080,784	-426,787,662	78,293,122
一般正味財産期首残高					1,083,581,790	1,001,751,565	2,085,333,355
一般正味財産期末残高					1,588,662,574	574,963,903	2,163,626,477
II 指定正味財産増減の部							
受取寄附金	0	0	0	20,500,000	20,500,000	0	20,500,000
受取寄附金	0	0	0	20,500,000	20,500,000	0	20,500,000
基本財産評価益	0	0	0	204,772,373	204,772,373	137,285,688	342,058,061
基本財産評価益	0	0	0	204,772,373	204,772,373	137,285,688	342,058,061
一般正味財産への振替額	0	0	0	-947,788	-947,788	-406,193	-1,353,981
一般正味財産への振替額	0	0	0	-947,788	-947,788	-406,193	-1,353,981
他会計振替額	0	0	0	2,465,958,936	2,465,958,936	-2,465,958,936	0
他会計振替額	0	0	0	2,465,958,936	2,465,958,936	-2,465,958,936	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	2,690,283,521	2,690,283,521	-2,329,079,441	361,204,080
指定正味財産期首残高					1,606,149,903	5,038,997,942	6,645,147,845
指定正味財産期末残高					4,296,433,424	2,709,918,501	7,006,351,925
III 正味財産期末残高					5,885,095,998	3,284,882,404	9,169,978,402

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 投資有価証券の評価基準及び評価方法について

時価のある有価証券については、期末日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算定）によっている。

(2) 固定資産の減価償却について

①有形固定資産

建物	定率法によっている。なお、平成10年4月1日以降に取得した建物は定額によっている。
建物附属設備	定率法によっている。なお、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備は定額法によっている。
構築物	定率法によっている。なお、平成28年4月1日以降に取得した構築物は定額法によっている。
什器備品	定率法によっている。

②無形固定資産

ソフトウェア 定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準について

役員退職引当金 内規に基づく期末要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	55,100,000	20,500,000	0	75,600,000
定期預金	34,856,650			34,856,650
投資有価証券－株式	7,329,241,416	408,035,499		7,737,276,915
投資有価証券－国債等	706,803,000	250,000,000	278,209,000	678,594,000
借地権	318,835,500			318,835,500
建物	35,817,727	0	1,507,183	34,310,544
小 計	8,480,654,293	678,535,499	279,716,183	8,879,473,609
特定資産				
退職引当資産	4,500,000	1,200,000	0	5,700,000
建物建造引当資産	103,860,000	0	760,000	103,100,000
奨学助成引当資産	1,560,218			1,560,218
周年事業引当資産	12,000,000	0	0	12,000,000
リカレント奨学引当資産	18,000,000	9,000,000	0	27,000,000
小 計	139,920,218	10,200,000	760,000	149,360,218
合 計	8,620,574,511	688,735,499	280,476,183	9,028,833,827

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
普通預金	75,600,000	(75,600,000)		
定期預金	34,856,650	(26,700,000)	(8,156,650)	
投資有価証券	8,415,870,915	(6,546,921,685)	(1,868,949,230)	
借地権	318,835,500	(318,835,500)		
建物	34,310,544	(28,734,522)	(5,576,022)	
小 計	8,879,473,609	(6,996,791,707)	(1,882,681,902)	(0)
特定資産				
役員退職引当資産	5,700,000			(5,700,000)
建物建造引当資産	103,100,000	(8,000,000)	(95,100,000)	
奨学助成引当資産	1,560,218	(1,560,218)	(0)	
周年事業引当資産	12,000,000		(12,000,000)	
リカレント奨学引当資産	27,000,000		(27,000,000)	
小 計	149,360,218	(9,560,218)	(134,100,000)	(5,700,000)
合 計	9,028,833,827	(7,006,351,925)	(2,016,781,902)	(5,700,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	124,460,154	90,149,610	34,310,544
建物附属設備	11,680,790	7,612,238	4,068,552
構築物	354,600	310,038	44,562
什器備品	4,979,293	3,236,976	1,742,317
ソフトウェア	1,232,615	1,232,615	0
合 計	142,707,452	102,541,477	40,165,975

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 訳		
経常収益への振替額		
減価償却費計上による振替額		1,353,981
合 計		1,353,981

6. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職引当金	4,500,000	1,200,000			5,700,000

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記2に記載している。
2. 引当金の明細
財務諸表に対する注記6に記載している。

特定資産の取崩し及び積立てについて
(令和元年10月1日から令和2年9月30日まで)

当事業年度における、特定資産の取崩し及び積立ての内容は以下のとおり。

項 目	金 額	備 考
特定資産取崩収入		
収入計 (A)	0円	
特定資産積立支出 奨学助成積立支出	9,000,000円	リカレント奨学金 (仮称ライフシフト奨学金)
支出計 (B)	9,000,000円	
(A) - (B)	-9,000,000円	

財産目録

令和 2年 9月30日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として 51,851
	当座預金	三井住友銀行 新橋支店	運転資金として 623,100
	普通預金	三菱東京UFJ銀行 祐天寺支店	運転資金として 144,250,543
	定期預金	三井住友銀行 新橋支店	運転資金として 3,843,350
	流動資産合計		
(固定資産) 基本財産	普通預金	三菱東京UFJ銀行 祐天寺支店	75,600,000 基本財産に用途を特定されている 寄附財産
	定期預金	三菱東京UFJ銀行 祐天寺支店	34,856,650 基本財産に用途を特定されている 寄附財産
		三菱東京UFJ銀行 祐天寺支店	2,700,000 公益目的保有財産として運用益を 事業に使用している
		三井住友銀行 新橋支店	18,156,650 公益目的保有財産として運用益を 事業に使用している
	投資有価証券	スタンレー電気株式	8,415,870,915
		野村証券	7,737,276,915 管理運営用財産として運用益を 管理運営に使用している
		国外債11	4,642,364,340 公益目的保有財産として運用益を 事業に使用している
		野村証券	678,594,000
		大和証券	639,788,000 基本財産に用途を特定されたてい る寄附財産
	借地権		38,806,000
		宅地 229.75㎡ 目黒区五本木1-12-16	318,835,500 公益目的保有財産として使用して いる
			223,184,850 管理運営用財産として管理運営に 使用している
	建物		95,650,650
	373.81㎡ 目黒区五本木1-12-16	34,310,544 公益目的保有財産として使用して いる	
		24,017,354 管理運営用財産として管理運営に 使用している	
		10,293,190	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
特定資産	退職引当資産	普通預金	常勤役員の退職金の支払資金として管理されている預金	5,700,000	
		三菱東京UFJ銀行 祐天寺支店		1,200,000	
		定期預金	常勤役員の退職金の支払資金として管理されている預金	4,500,000	
	建物建造引当資産	国債等			103,100,000
		ムラヨ-ロツパ°ファイナンス債等			95,100,000
			公益目的事業に使用する建物の老朽化に伴う建造のため資産取得資金として管理されている資産		66,570,000
			管理運営に使用する建物の老朽化に伴う建造のため資産取得資金として管理されている資産		28,530,000
		定期預金			8,000,000
	三菱東京UFJ銀行 祐天寺支店	公益目的事業に使用する建物の老朽化に伴う建造のため資産取得資金として管理されている資産		5,600,000	
	奨学助成引当資産	普通預金	奨学助成事業に用途を特定されている積立資産	1,560,218	
三菱東京UFJ銀行 祐天寺支店					
周年事業引当資産	普通預金	周年記念事業の積立資産であり、特定費用準備金として管理されている預金	12,000,000		
三菱東京UFJ銀行 祐天寺支店					
リカレント奨学引当資産	普通預金	リカレント奨学事業の積立資産であり、特定費用準備資産として管理されている預金	27,000,000		
三菱東京UFJ銀行 祐天寺支店					
その他固定資産	建物附属設備		公益目的事業の用に供している	4,068,552	
			管理運営の用に供している	2,847,962	
	構築物		公益目的事業の用に供している	1,220,590	
			管理運営の用に供している	44,562	
	什器備品		公益目的事業の用に供している	22,277	
			管理運営の用に供している	22,285	
電話加入権		公益目的事業の用に供している	1,742,317		
			3		
			1,742,314		
			220,300		
固定資産合計				9,034,909,558	
資産合計				9,183,678,402	
(流動負債)	未払金		研究助成金未払金	8,000,000	
流動負債合計				8,000,000	
(固定負債)	役員退職引当金		常勤役員の退職金の引き当てに使用する	5,700,000	
固定負債合計				5,700,000	
負債合計				13,700,000	
正味財産				9,169,978,402	